



## プレミアムドラマ「人生、成り行き」

古典落語をやらせたら天下一品、100年に一度の天才とも呼ばれる落語家・立川談志。そして、その人生は波瀾万丈。常に談志のいるところには騒動が巻き起こっていた。しかし、その型破りな生き方もまた最高の落語を聞かせるためだった。そして、亡くなってから2年が経つ。

番組では、立川談志がどのように生きてきたのか、どれだけ落語を愛していたのか、その青年時代(前編)と、落語協会を飛び出して立川流を設立した時代(後編)に焦点をあて、その破天荒な日々と人間味あふれる姿を描いていく。

※過去に撮影した談志のドキュメント映像に加え、ドラマで人物像を深く描く、ドキュメンタリードラマ演出。

ドラマパートでは3人の俳優が立川談志役を演じる。ドラマパートの脚本は木皿泉(きざら いずみ)。

青年期＝小出恵介 壮年期＝中山秀征 晩年期＝田中泯



### ～天才落語家・立川談志 青春疾風録～(前編)

<放送> 8月11日(日) 午後10:00～10:59

終戦後。談志は小学生のときに落語を聞いてその虜になり、高校を中退して柳家小さんに弟子入り。若い頃からその才能を発揮、頭角を現す。その後は、その才能と生意気なキャラクターで時代の寵児となっていく。

しかし時に挫折も。後輩の志ん朝に真打ちを抜かれる。しかし談志は負けないぞとばかりに大活躍、果ては参議院議員に立候補。さらには酔っぱらい会見で大騒動。そんな、破天荒な生き方も全ては最高の落語を演じるためだった。前編ではそんな談志の10代後半から30代までを描く。

【出演者】小出恵介 柳亭市馬 真野恵里菜 坂井真紀 田中 泯 ほか



### ～天才落語家・立川談志 ここにあり～(後編)

<放送> 8月18日(日) 午後10:00～10:59

落語協会の真打ち制度のやりかたに異論を唱え、師匠が会長をつとめる協会を脱退し、自ら、落語・立川流を設立。それは、落語界で初めて家元制度を導入、弟子から上納金を集めるという前代未聞の団体となった。

立川流は寄席には出られない。しばらくは落語会に出られない日々もあったが、談志のもとには、後に人気落語家となる、立川志の輔や立川志らく、立川談春など、多くの若い才能があつまっていた。談志の自宅を舞台に繰り広げられる、毀誉褒貶の激しい談志と弟子との抱腹絶倒の日々を描いて行くとともに、死ぬ間際まで落語と格闘して生きた談志の姿を描いていく。さらに、晩年のドキュメント映像や落語映像、さらには志の輔ら弟子たちのインタビューも盛り込んでいく。

【出演者】中山秀征 柳亭市馬 マギー 坂井真紀 田中 泯 ほか

